



なんでやねん



発行責任者 倉橋 忠

No. 1 5

はじめての「作文」に挑戦^{いど}で

昨日(5月20日)の授業で、君たちに初めて「課題作文」(制限時間 7 分)^{ちようせん}に挑戦^{ちようせん}してもらいました。初めてにしては、よく書けている人が予想^{よそう}以上に多くいました。

作文を書くコツは、自分の頭の中にある知識や思い(気持ち)を整理して、『わからない』ことも「何が分からないのか」を説明できる文を書けるようにすることです。自分知識や思いを整理するときに、前回の授業で指導した「イメージマップ法」を利用すると考えやすかったと思います。今回の作文で、「イメージマップ法」を使えなかった人は、ぜひ、次のGLTの場面や、作文を書くときに挑戦してみてください。できるようになると「一生^{いつしやう}の宝物^{たからもの}」になるはずです。

ところで、現実社会におこる問題では、「解決方法^{かいけつほうほう}」や「原因^{げんいん}」が不明^{ふめい}なことはいっぱいあります。不明なことが多いから論争^{ろんそう}になっていて、その論争の中心になる^{まと}的^{ろんてん}が「論点」です。学問の目的の一つは、この「論点」を明らかに^{たんきやう}することと解決方法を探^{たん}究^{きやう}することです。

そして、「論点」に対して、明確^{めいかく}な自分の意見を科学的な根拠^{こんきよ}(社会科の授業で知った事実^{もと}など)に基づいて書くと、作文ではなく「論文^{ろんぶん}」になります。私の社会科の授業では、君たちが「中学生の論文」が書けるようになることを目標にしています。

【問題】 次の課題のどちらかを選んで、自分の考えることを説明(作文)して下さい。

表現^{ひようげん}方法は、文章に限りませんが、文章のない「作品」は、評価対象^{たいしやう}にしませんので注意して下さい(イラストやグラフなどは文章の補助資料^{ほじよ}として使うこと)。

【選択課題①】 昨年(2015年)に、公職選挙法^{こうしよく}が改正されて、満18歳になると選挙権が与えられることになりました。今から3年が過ぎ、あなたが、満18歳になるときに選挙があつて、投票できるようになりました。友達が「投票しない」と言っています。そのとき、あなたは、その友達にどんなふうに言いますか。また、あなたは投票に行きますか。

友達に言う内容と、自分のとる行動の根拠^{こんきよ}(理由)もあわせて考えて下さい。

【選択課題②】 あなたは昭和時代の初期^{しよ き}(1930年ごろ)に生きています。あなたは映画館を経営^{けいえい}して映画の魅力^{りよく}を通して、町の人たちに文化的な暮らしのすばらしさを知ってもらおうと思っています。あなたは、経営者としてどんなことをしてお客さんを増やしたらいでしょうか。従業員の生活もかかっています。昭和初期に可能なお客さんを増やす方法と、その方法を考える根拠^{こんきよ}(理由)もあわせて考えて下さい。

友だちの「作品」から学ぼう

さて、今回の「作文」は10点満点です。論点と評価基準は、次に示すとおりです。

作文を評価する際には、漢字の誤り^{げんてん}を減点対象にしません。評価法は加^か点法^{てんぽう}です(良いところだけを点数にします)。

あわせて、7点以上の「作品」の一部を紹^{しょう}介^{かい}しますので、友だちの「作品」をしっかり読んで学んでください。なお、「作品」をそのまま紹介していますので、漢字の誤りなどがあります。漢字の誤りには、注意して読んでください。

【選択課題①の論点と評価基準】

- ◎ 歴史的には選挙権は「直接国税^{のうぜいしや}の納^{のう}税^{ぜい}者^{しや}」(男子・25歳以上)だけに与えられたこと。
 - ◎ 選挙権に「納^{のう}税^{ぜい}者^{しや}」という制限をなくすのに、多くの苦しみや努力があったこと。
 - ◎ 選挙権を行使すること(投票すること)は、政治に参加する権利であること。
 - ◎ 選挙権を行使するためには、普段から政治的なことに関心をよせていて、自分なりに意見を考えておくことが必要になること。
 - ◎ 課題(投票に行くか)に対して、自分の意見を、根^{こん}拠^{きよ}(事^じ実^じ)を示して筋^す道^{じち}を立てて説明できていること(論^{ろん}理^り立てていること)。
 - ◎ 授業から発^は展^{てん}して、調^{てい}べ学^{がく}習^{しゅう}をしたり、普^ふ段^{だん}(日^に常^{じょう}生^{せい}活^{くわく})のことと結^{むす}び^ひつ^つけ^け応^{おう}用^{よう}して考^{こう}え^えて^てい^いる
- 各論点について2点を加^か点^{てん}する。た^ただ^だし、論^{ろん}理^り矛^む盾^{じゆん}は－2点とする。

【選択課題①の代表作品】

作者：M・K

私なら、友人には投票に行つてほしいです。なぜなら、その子には与えられた権利があるからです。私は国^{こく}せ^せき^きが日本でなく韓国なので、何歳になつても投票権はありません。私たちは日本で、日本人と同じように過^かご^ごしてきて、しっかりと税^{ぜい}金^{きん}も払^はつ^つて^てい^いま^ます。なのに、投票権がないのはおかしいです。日本は、外国人に対してのへん^{へん}けん^{けん}を持^もつ^つた^た人^{にん}が多いです。外国からどのくらい助けてもらっているかも知らず、すぐに自分たちが1番だと言^いつ^つた^たり^りし^しま^ます。恩^{おん}知^ちら^らず^ずに^にも^もほ^ほど^どが^があ^あり^りま^ます。私は、法律を変えるべきだと思^{おも}い^いま^ます。日本に住^すん^んで^てい^いて、日本人と共存している、それだけで投票する権利をもらうには充分だと思^{おも}い^いま^ます。

(投票を権利だと明^{めい}確^{くわく}にしています。納^{のう}税^{ぜい}が選挙権の条件だったこともあるのに、外^{がい}国^{こく}籍^{せき}の人^{ひと}には税^{ぜい}を納^{のう}め^めて^てい^いても選挙権を認めない今日の制度のふ^ふご^ごう^うり^りす^する^るど^どし^して^てき^き不^ふ理^りを鋭^{えい}く指^{さし}摘^{てき}しています。… 倉橋)

作者：K・U

私は、投票に行くと思います。選挙法が改定されてすぐの時はテレビでもよく賛否両論と言っていました。それにあわせて、今の若い人は政治に関して無関心な人が多いとテレビでやっていました。私はまだ中学生です。ですが、3年後投票できるようになります。なので少しでも政治について理解をしてから投票できるようになりたいです。

政治について理解すると言っても、難しいと思います。だから、もし友達が「投票しない」と言ったら、投票したくてもできない人がいることを伝えて、『自分の1票で政治が変わるかもしれない』ということを知ってもらいたいです。政治についてくわしくは分からない私ですが、『自分の1票で政治が変わる』可能性があることは分かっています。

だからこそ、1票くらい・・・、忙しいから・・・。とか言わないように、1票を大事に投票できたらいいと思います。

友達に言う内容を、投票したくてもできない人がいる

(作文が途中^{とちゅう}で終わっていますが、主張は十分伝わってきます。政治に参加する権利を保障されていない人たちへの意識も忘れていません。歴史的には^{しよみん}庶民も同じ立場だったのです。政治のことについては、地理的分野と歴史的分野の学習を基礎にして、公民的分野で学習していきます。… 倉橋)

作者：G・S

まず、自分は投票すると思います。

その根拠は、選挙というのは自分達国民の中から代表者を出して、自分達の国の未来を考えていくための物だからです。

これをおこたるということは きよくたん^{きよくたん}に言えば国をほろぼすことと同じなのです。

だから、この人なら日本の未来をしっかりと考えてよりよい国にしてくれると思う人にしっかりと一人一人が投票しないといけないと思います。

もし、友達が行かないというのであれば 自分はひとごとじゃないということを話し 一緒に投票に行こうと言うと思います。私は、投票に行くと思います。

(選挙の投票に行くことが政治に参加することだと明確にしています。さらに、国民主権の基本にたって議論を進めています。ただ、歴史的な説明がなかったことが残念です。… 倉橋)

作者：M・T

私は、友達に対して「絶対に選挙に行くべきだ」と断言し、行くようにせつとくします。「なぜか？」ときかれたら、私は「私たちは、国会議員ではないから国会で意見することができません。しかし、私たちが選挙で選ぶ人たちは国会で意見・提案を述べることができる。もし、あなたが〇〇をしてほしいと思っていたら、それを選挙に当選したらしますという立こうほ者がいるかもしれない。その人に票を入れたら、必ずしもとわないが あなたの一票で実現するかもしれない。選挙にいかず、国会でしていることにあれこれ家で文句をいっていてもしかたがないよ。」といいます。

私は必ず選

(この作文も途中^{とちゅう}で終わっていますが、主張は十分伝わってきます。国会が国民を代表する機関であることを前提に議論できています。歴史で学んだことが書けていないことが残念です。… 倉橋)

作者：M・M

私は「投票に行かない」と言っている友達に、「一緒に投票に行こうよ」と声を掛けます。

なぜなら、今の日本の、特に若者の投票率が低いからです。

その理由として、政治に失望している(投票に行っても何も変わらない)、投票に行くのが面倒、賛同できる政治家がいらないなどが挙げられています。

少子高齢化が進んでいるため、今後若者の投票率がさらに減ると考えられます。

そのため、もっと積極的に投票に参加し、私達若者の”声”を政治に反映していきたいと思っています。

18歳ではまだ十分な判断力がない、などの反対の意見もありますが、世界的に18歳以上から選挙権がある国は約8割もあるので、私は18歳以上に選挙権を与えてもいいと思います。

自分達の将来を決めることだから、他人事ではなく、自分で考えて投票しようと思っています。

(授業で知った選挙権のことと、ニュース報道されている投票率との関連で考えようとしています。また、関心を持って調べていることも伝わってきます。… 倉橋)

【選択課題②の論点と評価基準】

- ◎ 大正から昭和初期の社会的な基盤(技術や社会的資源)の説明があること。
 - ◎ 映画館の経営は、観客の支払う観賞料で成り立つこと。
 - ◎ 映画に興味をもってもらうための具体的な方法(宣伝方法)を示すこと。
 - ◎ 映画(フィルム)を借り入れたり、宣伝をするためには、資本(資金や土地)が必要で、その資本を確保する方法について説明できること。
 - ◎ 課題(客を増やす方法)に対して、自分の意見を、根拠(事実)を示して筋道を立てて説明できていること(論理立てていること)。
 - ◎ 授業から発展して、調べ学習をしたり、普段(日常生活)のことと結びつけ応用して考えている
- 各論点について2点を加点する。ただし、論理矛盾は－2点とする。

【選択課題②の代表作品】

作者：K・K

映画で少しずつコツコツとがんばっている人達をえがいている映画を紹介するとすれば、うらが白紙になっているビラを配れば、うらが白紙のため それを何かのメモとして使ってくれるかもしれない。

そのメモをふとオモテを向けると映画の告知があり、見に行ってくれるかもしれない。だからあえて、うらが白紙のビラを配る。配る場所を考える。私は、その映画でえがいている人物と似ている立場の人が働いている工場近くで配る。すると、この内容は、自分と同じ立場の人の映画ではないかと共感を持ち、来てくれる率が高くなる。そうして、私は日本の文化のためにはたらいてくれている人々の大切さをそこで同じ立場に立つ人や 同じ立場でなくても 少しでも共感してくれる人に見に来てもらう。そのビラに割引けんもついていたらいいかもしれない。はたらいている人たちが来てくれるので、映画の時間もくわしくのっていたら

(作文が途中で終わっているのが残念です。明治・大正時代に工場で働く労働者が急に増えました。そのことを意識しているのでしょうか。この作文には、表現上でまだまだ改良する点がありますが、あれこれ悩んでいる様子が伝わってくる作品です。仕事(サービスを提供する)のうえで、人と人の「共感する」という感性に注目した点は高く評価されて良いと思います。

ちなみに、かつての広告のビラの多くはウらが白でした。最近は紙質とインクの質や印刷技術が高くなってきているので、両面印刷しているビラが増えました。… 倉橋)

作者：A・K

昭和時代の初期の映画館に来るお客さんの増やし方で、まず1つは新聞や広告のちらしによる宣伝です。当時の新聞は4ページしかないなか映画のコーナーが2ヶ所もあり読んでいる人にも目がつくと思います。ほかにも動くことはない看板を設置して通るたびに見てしまうようにしたり、従業員による呼びかけも重要だと思います。

大衆文化によってラジオ放送が始まり、ラジオに告知してもらうことによってもお客さんがたくさん増えると思います。

地面に座っていたのが今の時代のようにいすに変わって、お客さんにも高印象になると思います。

今の時代だとテレビなどで告知できるけど昔はそんなのなくても、お客さんが来てくれたからすごいと思うし、技術がとても発達したと思いました。

(授業で見た「昭和2年の新聞」からヒントを得たことがよくわかる作品です。さらに、時代背景にも十分注意しながら、人の動きを中心に考えています。特に、消費者目線を忘れないで考えることができていたので説得力のある作文になっています。また、今日の様子と比較している点も説得力があります。なお、文中の「高印象」は「好印象」が正しい表記です。… 倉橋)

作者：Y・M

ぼくは、映画館にお客さんを増やすには、まず、映画館を知ってもらうことが必要だと思います。そのためには、新聞でせんでんするのがいいと思います。理由は、新聞を見て映画館はどんなところだろう行ってみたいなと思わすことが大切だからです。次に、その新聞を見て来る客がいると思うので、また来たいなと思わさなければなりません。そのために、映画館をきれいにしたほうがいいと思います。理由は、きたない部屋で1時間も映画みようと思わないからです。あとは、すわりやすいすにしたらいいと思います。すわりやすかったら、気持ち良く集中してみれるからです。これらのことをしたら、客がふえると思います。

(この作文も「昭和2年の新聞」から得た情報をもとに考えています。そのうえで、消費者目線を忘れないで、人々が興味を持つことについて検討しています。「きれいにしたほうがいい」と清潔感に根拠を求めたあたりは、好感が持てます。中学生らしいし、大人になってからも必要な最も大切な視線だと思います。… 倉橋)